事例No.	2846
公表年度	R5
団体の属性	都道府県
団体名	栃木県

事例区分	地域活性化

タグ	・人材確保・育成 ・関係人口

事例種類	人材確保・育成

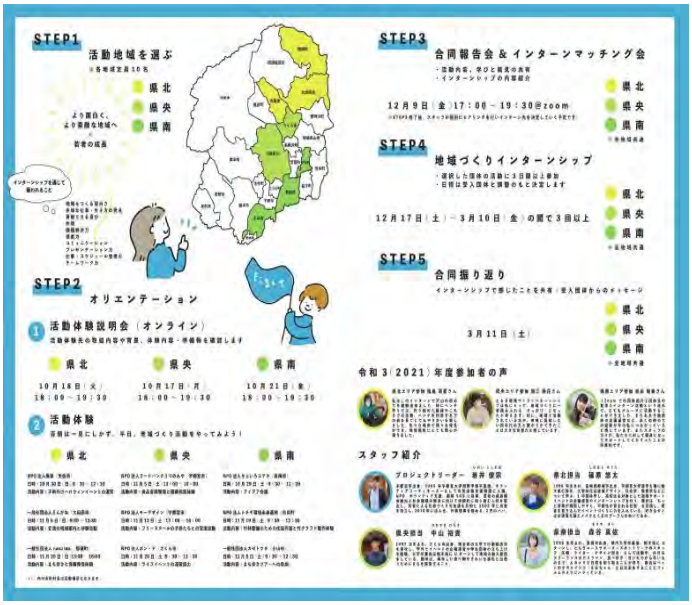
事例内容・タイトル

栃木県地域づくり担い手育成事業

出典

地域づくり人材の養成に関する調査研究会（第5回）

都道府県名	栃木県		
事業名	栃木県地域づくり担い手育成事業		
目　的	防災や福祉などの地域における共助の活動の実践事例を学ぶ、環境やユニバーサルデザインに配慮したまちづくり手法について学ぶ、　高齢者から学生まで、様々な階層の活動参加の促進手法等を学ぶ、リーダーシップなど活動に関する心構えや理念、哲学を学ぶ、事業計画づくりやコミュニケーションなど地域マネジメントに係る知識や技法を学ぶ。		
経　緯	（平成 23 年頃～平成 27 年）県において、地域課題解決のためのワークショップを随時開催 ・実施方法：各年度単発開催　・対象者：県内の地域づくり実践者や若者等 （平成 28 年度）地域づくりの人材育成を目的とし「地域づくり担い手育成事業」として３段階の通年のプログラムに発展 ・実施方法：若者会議→ワークショップ→スキルアップ講座 ・対象者：若者会議（地域づくり未経験の若者）→ワークショップ（地域づくりに興味を持つ県民）→スキルアップ講座（地域づくりを実践中又は実践を検討している県民） ※このプログラム体系をベースとした事業を令和２年度まで継続 （令和３年度）より若者の担い手を育成、確保していくことに重点を置き、地域づくり団体への参加や定着も狙っていくことで再編 ・実施方法：①地域づくり担い手育成プログラム（愛称：とちぎ地域づくりインターンシップ）、②地域づくり担い手支援プログラム（愛称：地域づくりスキルアップ講座） ・対象者：①地域づくりに興味がある若者（高校生、大学生、社会人）、②地域づくり実践者		
予算規模	300 万円以上 400 万円未満		
開始時期	平成 26～30 年度	受講規模	100 人程度
実施形態	通学型、オンライン型（Zoomや Webex）		
受講者属性	年代	年齢・・・30 代未満	
	職業	職業・・・無職、その他	
受講対象	NPO や地域づくり団体のスタッフ、高校生、大学生等		
効果検証	参加者アンケート実施		
成果指標	設定していない		
目標等	令和３年度目標設定 ・地域づくり担い手育成プログラムの参加者が団体と継続的な繋がりをもつ ・地域づくり担い手支援プログラムの参加者が団体の継続的な活動を行う		
運営方法（主体）	外部委託	修了生への対応	特になし
修了生との関係	引き続き地域づくり団体での活動体験への呼びかけや、地域づくりの実践者向けの講座（栃木県地域づくり担い手育成事業内のプログラム）への参加案内を行い、興味関心が継続するように努める。		
修了生の事例把握	把握している。 ・本事業をきっかけに立ち上がった団体 ・・・一般社団法人えんがお（大田原市）代表　濱野 将行氏 ◆H28 年度受講者・・・高齢者の地域での孤立を防ぐため、大田原市中心部の空き家を改修し、若者と高齢者が交流できるスペースの整備や、繋がり作りに取組む。		



出典：栃木県ホームページ